

【2026 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

15	これまでの学習の総括を行い、どのようなコミュニケーション技術が自分に最も有益かを考察する。	講義・演習		1
試	3～4 人グループで英語のみで話すことを通して問題を解く。			

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	30	0	0	0	0	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	50	50
問題を発見・解決する力		10	0	0	0	0	10

評価のポイント			フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	
試験	①		試験の評価、教員による個人的な助言・コーチング
	②	✓	
	③	✓	
	④		
	⑤	✓	
	⑥	✓	
その他	①	✓	教員からの個人的な助言・コーチング、スピードチェックの結果
	②	✓	
	③	✓	
	④	✓	
	⑤	✓	
	⑥	✓	

試験：グループタスクを完成させる。(グループメンバー一人にある情報が与えられ、その情報を英語、コミュニケーションのテクニックを使い、他のメンバーに伝達する。グループメンバーは互いに協力し、問題解決方法を探す。) 評価：日本語を使わずに、正確に情報の伝達、解釈ができるかを評価する。(成績の 50%)

成績評価は主に授業におけるスピーキングアクティビティへの積極的参加や、英語、コミュニケーションのテクニックを駆使する努力を評価する。授業内でのアクティビティは日本語を使用しないこと。加点は、英語の正確さよりタスクの成功や失敗に重点を置く。(成績の 50%)

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	19年間日本で英語を教授しており、10年間は本学で英語教育に携わっている。
実践的授業の内容	
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は、旧カリキュラム「英語 会話」の読替科目である。 ・学生は態度と英語を話すスキルに基づいて評価されるため(書式による課題はない)、出席と参加は非常に重要となる。クラスに欠席すると、その日は0点になる。 ・会話クラスの性質上、感染のリスクは通常よりも高くなる可能性がある。従って教室の換気が頻繁に行われるため学生は温度調整ができる服装で参加することを推奨する。また、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法(マスク着用等)を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 ・各クラスは24人の学生に制限されている。万が一、24人以上の学生が同じクラスに登録した場合、一部の学生は登録を解除される可能性がある。